

すぐれものをゲットしよう！

## 新生HP初のPCは 利用シーンに合わせて変幻自在

### Compaq Tablet PC TC1000

#### タブレットPC

発売元	日本ヒューレット・パッカド株式会社
発売日/価格	12月中旬/219,000円
サイズ/重量	274 x 216 x 20mm / 約1.36kg(キーボード装着時約1.76kg)
CPU/メモリー	トランスメタ Crusoe TM5800 1GHz / 256MB
ハードディスク容量	30GB
ディスプレイ	10.4インチTFTカラー液晶
バッテリー駆動時間	4時間以上(スタンバイ状態でも約1分以内なら交換可能)
インターフェイス	PCカードスロットType x 1、CFスロットx 1、USB2.0 x 2、VGA、モデム、有線LAN、802.11b無線LANデュアルアンテナなど
付属品	専用キーボード、スタイラスペンなど
参考URL	<a href="http://www.hp.com/jp/tabletpc/">www.hp.com/jp/tabletpc/</a>
問い合わせ先	hp directplus コールセンター 03-5304-6777



「Compaq」ブランドを継承したタブレットPCの最大の特徴は、ピュアタブレット、ノートPC、デスクトップPCの3形態に変身することだろう。本体はタブレット部とキーボード部を切り離すことが可能で、キーボード部を接続したままでも折りたたんで閉じ、ロックをすればピュアタブレット型になる。このキーボード部にはUSBポートなどが付いていないため、タブレット部に接続した状態でしか使えない。

重さは、タブレット部だけで約1.4kgなのが、キーボード部までを含めると約1.8kgにもなるので、片手で持ち続けるには少々辛かった。ピュアタブレット型の富士通「STYLISTIC」の約1.48kgや、ノートPC型の東芝「DynaBookSS 3500」の約1.85kgよりもちょっと軽めといったところだ。

重さを別にすれば、片手で抱えて使うには非常に便利な機能が付いている。左手で抱えて右手でペンを持てば、ちょうど左手の指先に「Enterキー」機能も付いたジョグダイヤルや「エスケープキー」「タブキー」のボタンがある。フォームの移動やスクロールなどで重宝する。また、「Q Menu」ボタンも配置されている。Q Menuは、無線LANのオンやオフなどの設定やアプリケーションのショートカットなどを最大30個まで

登録できるランチャーメニューで、ペンでもジョグダイヤルでも素早く直感的に操作できる。このほか、他社のタブレットPCがCPUにインテルのPentiumを採用しているのに対して、価格を抑えるためにトランスメタのCrusoeを採用している。他社に比べてパフォーマンスの速度はほとんど気にならなかった。それよりも、熱を帯びにくかったことに驚いた。

さらに、モニターの縁の部分にある「画面の縦横切り替えボタン」などは、機械式ではなく専用ペンでタップしなければ反応しないので、誤動作を防ぐように工夫されている。

もう1つ重大な違いがある。ペン操作は電磁誘導式なので他社と同様に指で触れても反応しないが、この仕組みが違う。他社の多くは電池不要のセンサー技術「Wacom Penabled Technology」を採用しており、筆圧が感知できる。T1000専用のスタイラスペンは単6電池を内蔵し、ペン先を押さえた際に磁界を発生させる仕組みなので、筆圧を感知しない。グラフィック系のソフトを利用する人には残念な点だろう。しかし、このペン先が磁界発生スイッチという仕組みは、押さえると軽いクリック感をもたらすのでタップしやすいというメリットにもなっている。



別売りのドッキングステーションは3万9,800円。ドライブはオプション。



本体裏面の爪を引き上げると置いたときに斜めになるチルト機構(下)。側面には右から電源、電子メール、Q Menu、「esc」「tab」ジョグダイヤルのボタンがあり、Q Menu(左)は最大30個まで設定可能なランチャー。



オススメ度 ●●●●○

実に細かいところまで配慮されている。本体のコストパフォーマンスは高いが、別売りのドッキングステーションや光ディスクドライブなどを合わせると30万円程度になってしまう。

## モノ好き編集部員のバトルトーク

# 「タブレットPCを買う？ 買わない？」

2002年11月7日、正式にタブレットPCが発表されて各社の製品が店頭にも出回るようになってきた。そこで、今回は特別に「モノ好き」編集部員が集まってタブレットPCについて語り合ってみた。メンバーはデバイス好きでこれまでに相当金をつぎ込んでいる西田、ITを駆使した編集者を夢見る河内、新製品を勢いだけで買ってしまおう別井の3人。

### 買うならピュアタブレット型とノートブックPC型のどっち

河内：絶対ノートブック。認識率が高かろうとも、キーボードで入力の方が断然速いしきれい。手書きのメモは整理するのも大変だし、俺の今の生活だったら手書きはまずしない。あくまでも、手書きはおまけで付いてくればいい。なんかピュアタブレット型を見るとコンビニで働いている人を想像するんですよ。そういう特定の業務の人とか、会議にいっぱい出席するエグゼクティブな人とか、そういう人以外は必要ないのでは。手書きに適したアプリケーションもないし。

西田：僕はピュアタブレット型がほしいけど、実は明確な理由はない。ただピュアタブレット型のほうがカッコいいからってだけ。今のアプリケーションはキーボードを前提に作られているから、本当はキーボードがあったほうが便利だと思うのでノートPC型を買ってしまいそうだけど、敢えてピュアタブレット型にしたい。だから、発売されている中では日本ヒューレット・パッカートの製品なら間違いなく買い。

別井：俺もピュアタブレット型がいい。キーボードを使いたいときはUSBのミニキーボードをつなげばいいし。別にデスクトップ型で使うこともないなあ。でも、どの製品もまだまだ重いし熱いし使い

づらい。ペンを活かしてないと思う。

西田：そもそもPC、もっと正確に言うとウィンドウズXPの延長がペンを使ったタブレットPCではないように思う。もっとまったく違うデバイスとして出してほしかった。マウスの代わりにペンで×印をタップしてウィンドウを閉じたりするのではなく、昔あったアップルのニュートンのようにペンで画面上をくしゃくしゃになぞれば本物の紙をもみくちゃにするようなアニメーション効果やOPERAのマウスジェスチャーもそうだけど、まったく違う操作体系を持ったOSにしたほうがよかったのではないかな。

### マイクロソフトは失敗したのか

河内：手書きでデジタルじゃなければならぬことがどうしても思い浮かばないので、使い道やメリットがわからない。ペンを既存の入力装置の置き換えとしか発想できないからダメなのではないかな。

西田：そうだね。たとえば、いまだに紙のドキュメントを打ち出してじっくり線を引きながら読むことが多いけど、モニターの精度が上がるなどタブレ



ペンを利用するPCを、ウィンドウズXPの延長で考えるのは無理がないだろうか

ットPCの性能が向上すればペーパーレスになる可能性はある。

別井：製品として具体化したことであるんな可能性は秘めているけれど、こういう姿ではないだろうと行ったところかな。

西田：マイクロソフトの製品はよくバージョン3ぐらいから本当にいいものになるとよく言われてる。ウィンドウズもインターネットエクスプローラもそうだった。タブレットPCもそうなるのではないかな。ノウハウは得られるだろうから、スクラップアンドビルドしながら設計から作り直してほしい。

河内：俺もまったく駄目だとは思っていない。ハードウェア的には魅力があるので、ぜひそうしてほしい。絶対にウィンドウズOSの延長ではないと思う。

別井：PCとは逆に、ペン中心だったPDAは、あとからニーズが高まってキーボード搭載型が増えてきた。PDAとタブレットPCが競い合ってるような新たなペンデバイスが生まれてくるかもしれない。



キーボードを前提に作られたアプリケーションばかりの中で、ペンを本当に活かせるか

モノ好き編集001 西田

買いたい度 ●●○○○

高いと言われるタブレットPCだが、プロダクトの完成度から考えると値段は高くはないように思う。それよりも、本当にペンの入力機能を「使うのかどうか」に疑問がある。自分の経験からするとペンものは、根本的な設計が変わらない限り買わない。

モノ好き編集002 別井

買いたい度 ●●●○○

発表された当初は猛烈にほしかったが、いまはトーンダウンしている。現在発売されている各社のタブレットPCはすべて試用してみたが、どれも手に持ったと熱くて重くて我慢ならない。この点をもっと改善されて価格がこなれてきたら考えたい。

モノ好き編集003 河内

買いたい度 ●○○○○

「ほしいか、ほしくないか」と問われればもちろんほしいのだが、財布と相談すると「買っておくべきランキング」の30位にも入らない。やっぱり「タブレットPCがないとどうにも困る！」という状況が見つからないのが最大のネック。

# 軽量コンパクトでカンタン設定 IEEE 802.11a対応 無線LANカード&アクセスポイント

## Aterm WL54AP ワイヤレスLANセット

### 無線LAN

発売元	NECアクセステクニカ株式会社
価格	オープンプライス(121@store価格39,800円)
WAN側インターフェイス	10BASE-T/100BASE-TX
LAN側インターフェイス	10BASE-T/100BASE-TX
通信規格	IEEE 802.11a
周波数帯域/チャンネル	5.2GHz帯(5150~5250MHz) 34/38/42/46ch
セキュリティ	ESS-ID(ESS-IDステルス機能あり) WEP 64ビット/128ビット/152ビット、MACアドレスフィルタリング
アンテナ方式	内蔵ダイバーシティアンテナ
本体寸法/重量	幅25×奥行102×高さ102mm(突起部分除く)約130g
付属品	ACアダプター、縦置きスタンド、イーサネットケーブル(2m) CD-ROMなど
参考URL	<a href="http://jump.izaware.com">jump izaware.com</a>
問い合わせ先	Atermインフォメーションセンター 0120-36-1138(フリーコール)



「Aterm WL54APワイヤレスLANセット」は、無線LANアクセスポイントと無線LANカードをセットにしたスターターキットだ。アクセスポイント「Aterm WL54AP」はとてもコンパクトでしかも超軽量の130g。これまでの802.11a対応のアクセスポイントからは想像できない小さな箱だ。本体の台座の部分は取り外しができ、本体の側面に付ければ壁面にも設置できる。一方機能面を見ると、暗号化機能ではWEP暗号化 64/128/152ビットに対応し、ESS-IDを外部に公表しない「ステルスESS-ID」機能やMACアドレスフィルタリング機能も備わる。小さいながら、機能十分のアクセスポイントだ。ATHEROS製無線LANチップを使ったことで、低価格、軽量コンパクトを実現している。ルーター機能、ハブ機能はないが、WANポート以外に有線LANのポートが1つあるので、直接パソコンを接続できる。ただし、ルーターを使っていない場合には、この有線をつないだパソコンと無線LANにつないだパソコンとを同時にインターネットに接続できない。Atermシリーズの特徴は、なんとといっても初心者への心憎いほどの配慮だ。その思想は本機でもあますところなく発揮されている。まず、工場出荷時にあらかじめESS-IDやWEP暗号化などが設定してある。そのおかげでアクセスポ

イントの設定は不要だ。ADSLモデムなどに接続するだけですぐに使えるようになる。また、ドライバーのインストールからアクセスポイントの設定まで行う「らくらくアシスタント」などの設定ツールも充実している。実際に使用してみると、確かに設定の簡単さは群を抜く。ウィザードが次々と表示されて無線LANカードの設定を一気に進めてくれるので、マウスをクリックする必要すらないのだ。またセキュリティ面は、初期設定のESS-IDとWEP64ビット暗号化でもホームユースでは十分。もしセキュリティが心配なら、WEP152ビット、MACアドレスフィルタリング、ステルスESS-IDの各機能を設定して利用すればいい。場所をとらないコンパクトさ、十分なセキュリティ対応、設定が容易で手軽に使えるシンプルな機能など、ネットワークに詳しくない初心者ユーザーに最適な無線LANシステムだ。

(梅垣まさひろ)



リセットスイッチ、WANポート、LANポート、電源が並ぶシンプルな背面。



ブラウザによる設定画面。ステルスESS-ID機能を利用できる。暗号化設定ではWEP152ビットにも対応した。

おすすめ度 ●●●●○

IEEE 802.11aがこれほどまでにコンパクトに安く手に入るのなら、IEEE 802.11b対応製品を買う必然性はないかも。

# IEEE 802.11b プラスで 22Mbps を実現した 無線LANシステム

## ADLINK2422APC

無線LAN

発売元	株式会社アドテック
価格	オープンプライス(アドテックeショップ通常価格19,800円)
LAN側インタフェース	10BASE-T/100BASE-TX
通信規格	IEEE 802.11b 11Mbps以下の動作時
周波数帯域/チャンネル	2.4GHz帯(2412~2484MHz) 1~14ch
セキュリティ	ESS-ID、WEP 64ビット/128ビット/256ビット、MACアドレスフィルタリング
アンテナ方式	ダイバーシティアンテナ
通信距離	22Mbps(屋内40m、屋外100m) 11Mbps(屋内50m、屋外160m)
本体寸法/重量	幅114×奥行き141×高さ42mm/約130g
付属品	イーサネットケーブル(1m) CD-ROM、ACアダプター、取付用木ネジ2本など
参考URL	<a href="http://www.adtec.co.jp/parts/ADLINK2422.html">www.adtec.co.jp/parts/ADLINK2422.html</a>
問い合わせ先	アドテックサポートセンター 0120-59-7109



ターボモードなどの名前ではIEEE 802.11bの倍速通信モードを持つ無線LANチップは昔から存在するが、それを製品化したものは意外に少ない。アドテックのADLINK2422は、テキサスインスツルメンツのTNETW1100チップが持つ「PBCC-22変調方式」を使って22Mbpsを実現した数少ない製品の1つだ。この変調方式は、802.11gドラフトでもオプションで採用されていて、802.11bのデータ転送方式を一部高速化したもの。アドテックによると、実際の通信速度は802.11b(11Mbps)の1.5倍程度というから、単純に2倍とはいかないが、それでも802.11bの実効速度4~5Mbpsに不満を感じている人には、魅力的な製品だろう。

機能面でまず目に付くのは、22Mbpsの独自モードを除き、無線LAN製品の互換性を保証する「Wi-Fi」の取得を申請中という点だ。TNETW1100チップのリファレンスデザイン(基板デザイン情報)はすでにWi-Fiを取得しているので、申請中とはいえADLINK2422もWi-Fi仕様を満たしていると考えていい。22Mbpsのモードと802.11bとを同時に使えるので、たとえば、802.11bで作られている無線LANネットワークの中にこれを参加させても問題はない。802.11aの場合と異なり、今ある環境を生かしながら高速化が図れるわけだ。

また、WEP暗号化では64/128/256ビットに対応し、MACアドレスフィルタリング機能も搭載してセキュリティ面でも万全だ。さらに、上級機にしかないアクセスポイント間通信機能や、クライアントモード、マルチチャンネルのローミング機能なども装備していて、業務用としても十分に使える無線LAN製品といえる。それによって、実売価格は802.11bより少し高い程度なので、802.11aに手を出すにはまだ高値だと感じている人にはよい選択肢ではないだろうか。

22Mbpsの実力を測定するために、実際に無線LAN側に置いたFreeBSDサーバーとのftp転送テストを行ってみた。その結果、put/get共に800Kバイト/秒前後という数値が叩き出した。これは、802.11bの実力値の2倍近い数字で、1.5倍程度というアドテックの宣伝文句はやや控えめな表現といっていいだろう。一方、電波の届き具合はほぼ他社製の802.11b製品と互角であった。ただし、アクセスポイントから離れていくとスループットが落ちるのがやや早いようだ。

最後に1点だけ苦言を。試用中にACアダプターのコネクター部が抜け落ちてしまった。たいした問題ではないが、使うときにはコネクターを奥までしっかり挿すように注意しよう。

(梅垣まさひろ)



付属のユーティリティソフトでアクセスポイントを設定する。本体のIPアドレスの初期設定もできるので、マニュアルを見なくても設定できた。



Windows XPのワイヤレスネットワーク画面。確かに、22Mbpsで通信が確立している。

おすすめ度 ●●●○○○

実効速度約8Mbpsというのは高速ADSL(8M/12M)にぴったりの速度。IEEE 802.11bのスピードに不満だが、IEEE 802.11aを買うほどでもないという人に使ってほしい。



## 自分専用の電話番号がもらえる メッセージはウェブで確認 「留守番電話 + パソコン」の新しい形

### 携快電話Office

#### メッセージ管理サービス

発売元	ソースネクスト株式会社
価格	11,800円(通常版) 24,800円(+FAX版)
利用可能期間	1年間(更新料金は通常版7,800円、+FAX版19,800円)
使用できる市外局番	東京(03) 大阪(06) 名古屋(052) 福岡(092) 札幌(011)
メールボックス容量	20MB
留守番電話	録音時間: 3分、保存件数: 30件、保存期間: 7日間
FAX	受信枚数: 10枚/件、保存件数: 30件、保存期間: 7日間
対応OS	ウィンドウズ98/Me/2000/XP
必要ハードウェア	パソコン用マイク(ボイスメールを送る場合)
参考URL	<a href="http://www.sourcenext.com/products/kei_office/">www.sourcenext.com/products/kei_office/</a>
問い合わせ先	03-5350-4844

ソースネクストの携快電話Officeは、留守番電話、FAX、メールといった各種のメッセージがウェブで一元管理できるサービスだ。このサービスの大きな特徴は、利用者がそれぞれ個別の電話番号を利用できる点にある。つまり、自分専用の電話番号が使って、しかもそこに届いたメッセージやFAXはウェブから確認できる。個人事業主など、電話応答を必要としている人にはかなり便利なサービスだ。製品パッケージとしては、このサービスの利用に必要なソフトウェアと、1年分のサービス使用料がセットになっている形だ。

携快電話Officeをインストールすると、ブラウザが起動して専用のサイト(www.keikaibox.com)に接続される。ここでユーザー登録を行い、使用する電話番号の市外局番を選ぶ。利用できる市外局番は札幌(011)、東京(03)、名古屋(052)、大阪(06)、福岡(092)の5か所だ。登録が終われば、ユーザーには「03-XXXX-XXXX」といった形の普通の電話番号が専用に割り当てられ、この電話番号はすぐに使うことができる。また、このときにxxxx@mail.keikaibox.comというメールアドレスも割り当てられる。

使い方は簡単で、ブラウザでさきほどの専用サイトにアクセスして、割り当てられた電話番号とパスワードを入力すると、HotmailやYahoo!メールなど同様のウェブメールの画面になる。

この画面に、さきほどの電話番号で受信した留守番電話のメッセージやFAXを確認できる。留守番電話のメッセージはWAV形式、FAXはTIFF形式のファイルとして保存されており、ブラウザで確認できるほかファイルとしてダウンロードも可能だ。また、普通の留守番電話と同じように、その番号に電話をかけて、暗証番号を入力することで、メッセージを聞くことも可能で、留守番電話やFAXを受信すると、指定したメールアドレスに通知する機能も持っている。ウェブメールとしての機能も豊富で、他のメールサーバーにPOP3でアクセスしてメールを自動的に受信する機能などがある。これにより、メール、留守番電話、FAXがすべてウェブで一元管理できるという仕組みだ。

こうした電話とメールを一元管理するタイプの製品は、企業のイントラネットなどに導入するタイプの大規模なものもこれまであったが、これがサービスとして個人向けに提供されたことは評価できる。メールがどれだけ普及しても、やはり電話やFAXも必要となることは多い。たとえば、個人でオンラインショップを運営している人などには、携快電話Officeはうってつけのサービスだと言えるだろう。不満点としては、メールボックスの容量が20MBとやや小さいことだ。追加料金でもいいので、できれば容量の拡張を可能にしてもらいたいところだ。(編集部)



携快電話Officeのメイン画面。留守番電話、FAX、メールが一括で管理できる。



一覧から留守番電話を選択すると、音声はWAV形式で再生される。

#### オススメ度 ●●●○○

個人事業主などで、メールと電話を頻繁に使う人にはうってつけのサービス。一元管理の便利さと、年額7,800円(FAXも利用する場合には19,800円)の料金が釣り合うならば導入を検討してみるといいだろう。

# 120GBのハードディスクで 150時間録画可能。 ただ、使いこなすには時間が必要

## パイオニア DVR-99H

### ハードディスクレコーダー



発売元	パイオニア株式会社
発売日	発売中
価格	オープン(実勢価格約15万円)
サイズ/重量	横420×奥行き360×高さ95.5ミリ/約6.4kg
ハードディスク容量	120GB
録画時間	FINE:約26時間/SP:約51時間/LP:約102時間/EP:約153時間
映像入力端子	入力端子3系統/S映像入力端子3系統など
参考URL	<a href="http://www.pioneer.co.jp/catalog/dvdr/dvr-99h.php">www.pioneer.co.jp/catalog/dvdr/dvr-99h.php</a>
問い合わせ先	カスタマーサポートセンター 0070-800-8181-22

高速記録メディアである4倍速記録の「DVD-R Ver.2.0 4x Revision 1.0」と、2倍速記録の「DVD-RW Ver.1.1 2x Revision 1.0」に対応したことが衝撃的だった「DVR-77H」の発売から1か月。ハードディスクの容量を「77H」の80GBから120GBに増量した、パイオニアのハードディスクレコーダーの最上位機種「DVR-99H」が登場した。

ただし、ハードディスクの容量が増えた以外、おもな機能は「77H」と変わらないので、あまり番組を録画しない、もしくはこまめにDVDに焼くという人は、価格の安い「77H」を購入した方がいいだろう。

「99H」はハードディスクが増量され最大約153時間の録画が可能なのだが(「77H」は102時間)これから“お正月連続12時間時代劇”などを録画しようと思っている人は注意が必要だ。「99H」では1回の連続録画は6時間以内となっているので、“12時間時代劇”は録画ボタンを押してそのままにしておくと、途中でしか録画できないことになる。できれば、これらの設定をユーザー側で操作できるようにしてほしい。また、ハードディスクレコーダーなので、「追っかけ再生」機能はついているのだがリモコンのボタンひとつでというわけには行かない。一度、録画のメニュー画面を立ち上げたら、ハードディスクに録画中の番組を選ば

なければ「追っかけ再生」ができず、常時ハードディスクに録画する形にはなっていないのだ。この製品が本領を發揮するのはハードディスクからDVDへのダビング時。高速メディア「DVD-R Ver.2.0 4x Revision 1.0」を使えば、これまでの4分の1以下の時間でダビングが完了してしまう。ただし、この操作もワンタッチというわけではないので、ユーザーにそれなりの知識が必要になる。このあたり、高性能であるが、まだまだ操作の方法などがこなれていなく、ヘビーユーザー向けの製品だなという印象を受けた。

ただ、フラッグシップモデルだけあって、BSアナログチューナ、プログレッシブ出力、DV端子などいたるところにAV製品として最高クラスの機能がついている。これらの機能を使いこなすことができ、なおかつ映像をゴリゴリ録画したい映像マニアにとっては、15万円を出しても買いの製品だといえる。(編集部)



高速DVDメディアを使えば、これまで面倒だったDVDへのダビングがかなり楽になる。



フラッグシップモデルだけあって、出力端子は充実している。



付属のリモコンは使い勝手がいいとはいえない。使いこなすまでに少し時間がかかるだろう。

おすすめ度 ●●●○○

高速メディア対応ということで、映像マニアにとっては喉から手が出るほどほしいマシンだろう。ただし、一般家庭ではまだまだ使いにくい製品という印象だ。

## ファイアーウォールやVPNなど セキュリティ重視の 高性能ブロードバンドルーター



プリンターポート1つとスイッチングハブ4ポートを標準装備。

### Broad Star LD-BBR4M3

#### ブロードバンドルーター

発売元	エレコム株式会社
価格	オープンプライス(エレコム・ダイレクトショップ価格9,800円)
対応回線	FTTH、xDSL、CATV
WAN側インターフェイス	10BASE-T/100BASE-TX
LAN側インターフェイス	10BASE-T/100BASE-TX AUTO MDI/MDI-X対応、スイッチングハブ4ポート
アドレス変換方式	NAT/IPマスカレード
セキュリティ	MACアドレスフィルタリング、パケットフィルタリング、ファイアーウォール(DoS SPI)、VPN(IPsec)、VPNパススルー
プリンターポート	D-Sub 25ピン
本体寸法/重量	幅221×奥行133×高さ32mm/約500g
付属品	ACアダプター
参考URL	<a href="http://www.elecom.co.jp">www.elecom.co.jp</a>
問い合わせ先	エレコム総合インフォメーションセンター 03-5337-3024

エレコムのブロードバンドルーター製品群Broad Starから、新製品「LD-BBR4M3」が発売された。前機種「LD-BBR4M2」のデザインを継承し、薄型でスマートな外観にさらに機能を凝縮した。LD-BBR4M2で採用している4ポートスイッチングハブとプリントサーバーは、LD-BBR4M3でもそのまま。D-Sub25ピンのインターフェイスを持つプリンターであれば、このルーターを使ってネットワーク化できる。このようなパラレルプリンター対応のプリントサーバー付きルーターは他社からも複数登場している。確かに便利ではあるが、近ごろ販売されているプリンターの大部分がUSBを採用していることを考えると、利用できる人はかなり限定されてしまう。しかし、プリントサーバーの設定は簡単で、すぐに利用できるのは嬉しい。付属のCD-ROMからプリントサーバーソフトウェアをインストールし、ウィンドウズの「コントロールパネル」「プリンタの追加」で「ローカルプリンタ」を選び、利用したいプリンターを登録する。そこで「印刷するポート」に「PRT( PRINT Server)」を選択すればいい。プリントサーバーの設定に限らず、使ってみて最初に思ったのは、あらゆる設定が簡単だということだ。付属の「かんたん! クイックセットアップガイド」に沿って各種の設定を行う。用紙やそれに掲載された図面は大きくて見やすい。こ

れならマニュアルが苦手な人でも、気楽に目を通せる。なお、各種の設定はブラウザから行う。メーカー公称の実効スループット値は、LD-BBR4M2で約47Mbpsだったのが、LD-BBR4M3では約54Mbpsに若干増速した。編集部でウィンドウズXP ProfessionalのIIS(インターネットインフォメーションサービス)機能を利用したFTPサーバーを使い、LD-BBR4M3経由で100Mバイトのデータをgetするテストを行ったところ、サーバーとクライアントのマシンスペックは決して高くはなかったが、それでも通信速度は平均値で約47Mbpsを記録した。また、LD-BBR4M3で初めてVPN(IPSec)を搭載。これにより、従来専用線を使っていたような中小企業の事業所間では両者間にLD-BBR4M3を設置することで専用線の代用ができる。VPN設定画面では、接続先(トンネル名)やIPSecによる暗号鍵の取得方法などを登録する。マニュアルもしっかりしているので、抵抗なく利用できるだろう。ほかにも、MACアドレスやIPアドレスで利用者を制限するフィルタリング機能や指定したコンピュータだけを外部から利用できるようにするDMZ機能などセキュリティ面への対応は充実している。実売価格は1万円程度で、個人から企業まで幅広く利用できる製品だ。(編集部)



ルーターの設定はウェブ画面で行う。状態表示ではプリンターの接続状態もわかる。



主要なネットワークゲーム名やビデオ会議などを選ぶだけで、特定のポートを開放する「特殊アプリケーション機能」もある。

おすすめ度 ●●●○○

ていねいなマニュアルとわかりやすい設定画面で、使い勝手が配慮されている。UPnPにも対応しているので、ウィンドウズメッセンジャーも利用できる。

# 常に最新の軽くて鮮明な 地図データとアプリケーションを インターネット経由で利用する

## MapFan.net Ver.3.0

### 地図ソフト

発売元	インクリメント・ピー株式会社
発売日/価格	12月5日/3,800円(1年間利用アクセスキー同梱)
対応OS	ウィンドウズ98/ME/NT/2000/XP
必要動作環境	Pentium 233MHz以上(Pentium 300MHz以上を推奨)のCPU、最低100MB以上のハードディスク空き容量、64MB以上のメモリー空き容量(96MB以上を推奨)、インターネットエクスプローラ5.0以上がインストールされている環境
参考URL	<a href="http://www.mapfan.net">www.mapfan.net</a>
問い合わせ先	インフォメーションセンター 03-3491-5032



カーナビや携帯電話の位置情報サービスを手がけるインクリメントPの「MapFan.net」は、常に最新のデータをインターネット経由で参照できるパソコン用の地図ソフトだ。日本全国の道路地図はもちろん、建物の形までわかる都市地図も1406都市が利用できる。

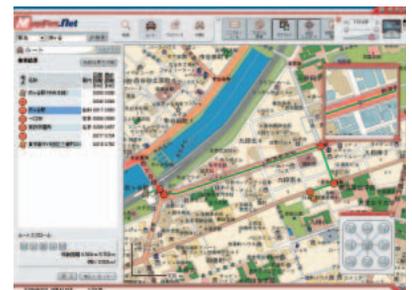
MapFan.netをインストールしてまず感じるのは、データがすべてサーバー側にあるため、プログラムのサイズが合計で4MB程度と小さいことだ。従来の地図ソフトでは膨大な地図データは数枚組のCD-ROMやDVD-ROMに収められていたことを考えれば、MapFan.netのシンプルさは魅力的だ。

また、地図をインターネットからダウンロードしながら描画しているにもかかわらず、地図の表示は極めてスムーズで、ADSLのような高速回線であればほとんどストレスを感じることはない。PHSのような低速の回線では表示スピードは鈍るものの、それほどストレスは感じない。同社が提供している地図検索サイト「MapFanWeb」[www.mapfan.com](http://www.mapfan.com)に比べても、描画速度はかなり速い。ウェブでは地図を画像としてやりとりしているのに対して、ソフトでは地図をベクトルデータで扱っているため、データ量が小さくなるからだ。

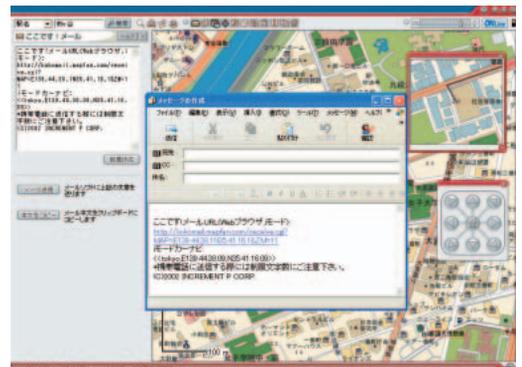
また、カーナビのように車で移動する場合のルート検索機能も、ウェブにはない機能だ。出発

地から目的地までの地図を自動でダウンロードしながら表示する「ルートスクロール」なども用意されている。このほかにも、現在表示している場所の周辺情報の検索や、現在地をMapFanWebで表示できるURLに変換してメールで送信できる機能など、地図ソフトとしての標準的な機能は揃っている。単に地図を確認するだけならば、無料の地図サイトでも十分かもしれない。こうしたサイトに比べた場合の専用ソフトのメリットは、マウスで地図をスクロールしているなどの操作性の良さ、ベクトルデータなので表示が軽快で、印刷した場合でもきれいだということになる。モバイル環境でよく地図サイトを利用するという人なら、MapFan.netの購入は検討してもいいだろう。

また、今後はMapFan.net自体もネットワーク経由でアップデートされていく予定となっている。パソコン用のGPS、VICSなどの交通情報との連携などが対応予定として挙げられているが、できれば鉄道の乗り換え案内のような、他のインターネット経由のサービスとの連携も望みたいところだ。(編集部)



道順を表示するルート検索。「ルートスクロール」を使うと、道順をアニメーションで表示する。



地図はURLとして送信できる。本文は自動的に作成され、利用しているメールソフトから送信する。

おすすめ度 ●●●○○

操作性にもうひとつ工夫ほしいところ。道路のルート検索だけではなく、鉄道の路線検索も可能にしてほしい。



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)